

新しい風ニュース NO 230

やまがたの環境とくらしを考える会 (通巻267)
岐阜県山県市西深瀬208 Tel・FAX 0581-22-4989

なんでも相談 どの政党とも無関係の 寺町ともまさ 2010年11月6日

HP ⇒ <http://gifu.kermin.net/teramachi/> メール ⇒ tera@ccy.ne.jp

毎日、千数百のアクセスがある私の日記(ブログ)は「てらまち」で検索するのが一番早いです

ご協力ありがとうございます リコール署名

リコールの運動を続けてきました。が、法定数の有権者の1/3に足らず、運動はここで終了です。署名をいただいた皆さん、かげながら応援してくださった皆さん、ありがとうございます。心よりお礼を申し上げます。法定数にまで届かなかったことを、リコールを呼びかけ、事務局を担当したものとして反省しています。申し訳ありませんでした。

11月4日に、県庁の記者クラブに次の報告をし、併せて、県選管にもお伝えしました。同文をここに掲載することで、市民の皆さんへの報告といたします。ご理解ください。

選挙ポスター一代水増し県議のリコール結果

8月20日に県選管へ届け出て、8月27日から10月26日までが署名の収集期間であった山県市での横山県議リコールの結果について、コメントも兼ねてご報告いたします。一昨日2日まで書類の回収を行い、最終の集計結果です。

署名簿(署名用紙) 「1217冊」 署名した市民 「4578人」

リコールの成立に必要な署名数、つまり直近の「9月17日」づけで県選管が告示した山県市の選挙人登録者の1/3の数は「8194人」です。

よって署名数が不足していますので、リコールの「署名簿の提出行為」自体なし得ません。

【署名の概要】

当初、A4版4枚7ページの「署名簿」(記名欄20人用)を作成しましたが、「書き方が分かりにくい」との声が多々あり、A3版1枚両面2ページの「署名用紙」(記名欄5人用)も作成しました(ルール上、「署名簿」には定型の様式がなく、「要件」さえそろっていれば種類を変えることも可)。

回収された署名簿・用紙において、氏名以外の署名月日、住所、生年月日の記載もおおむねなされていて、「押印か指印」についても「指印」はほとんど皆無に近く(10人以下)、従来の直接請求の署名以上に丁寧に署名がなされていました。

署名簿は、「20人」満杯(もしくは近く)もそれなりにあり、他方で、「1人」もありました。

【数が達しなかったことの分析】

- ポスター代の水増しの発覚(2007年6月)から3年以上が経過し、事件が風化して「怒り」の意識が薄れてしまうという、そのような市民感覚が予想以上にあり、盛り上がりには欠けそれが署名意識の伝播を強くしなかったこと。
- 過去に何度も行ってきた条例制定・改廃の直接請求とは異なり、署名したことが知れることへの懸念が格別にあったこと。
- 署名簿を各戸に配布したことが、かえって、「自分のところだけ書けば」という受け止めを誘ったこと。
- 市議の1/3以上が「リコールしよう」とのことだったが、始まると「動けない」等の状況に遭遇したこと(理由はそれぞれ)。
- 当時、市議5人が辞職していたが、関係者(市民)に複雑な意識が存在したこと。
- 寄せられた意見のいくつか。賛意や激励は多数ですが、ごく一部には「来年選挙だから、そこでいいではないか」「住民投票になればまた税金が使われるからリコールなどなくでもいい」「もっとほかのことにエネルギーを使え」等もありました。

【運動的な観点から】

事件当時、岐阜地検の起訴を期待しましたが、起訴猶予処分とされました。私たちは、岐阜検察審査会に申し立てしました。「市民意識の代表」である検察審査会は、2度、不起訴不当の議決をしました(2008年6月、2009年10月)。しかし、検察はいずれも不起訴(2009年3月、2010年1月)としました。

選挙公営(ポスター、選挙カー、ガソリン代)における水増しは、2007年から2008年にかけて、全国各地で不正が発覚するという大きな社会問題となりました。よって、全国の「候補者」への教訓のために、事件の全容を解明する「刑事裁判」は不可欠なものと判断しました。

ともかく、その間に3年近くが経過してしまいました。

通常、リコールは重要な争点が生じたときに直ちに実行され、一気に突っ走るものですが、今回の山県市においては、間を空けたリコールとならざるを得ず、結果として不成功となりました。

【まとめ】

事後の圧力への懸念を持ちながらも署名して下った方もあり、署名いただいた4500余名の皆さんには感謝します。いずれにしても、基本的には、事務局・寺町知正の責任であり、リコール成立に至らなかったことを申し訳なく思います。

以上

集まった署名簿・署名用紙 (2010年11月2日撮影)



山県市議会 12月定例会関連日程

11月16日(火)行政改革・特別委員会

18日(木)東海環状自動車道・特別委員会

24日(水) 全員協議会

11月30日(火)定例会・開会

12月1日(水)一般質問・通告

9日(木) 本会議質疑

10日13日14日・常任委員会

15日(水)一般質問

17日(金)討論・採決・閉会

12月議会の一般質問は、各種政策の提案をしようと考えています。

山県市の市民1人当たりの年間所得は262万円

今年は、人事院勧告で国家公務員の給与が引き下げられます。それにならってでしょう、慣例からすれば、山県市も同様の率の引き下げの議案を提案するのでしょうか。

11月30日に議会が開会するのは、「12月1日」が給与やボーナスなどの「起算日」なので、その前日までに条例改正をしておかないとややこしくなるから。

岐阜県が公表している「統計から見た山県市の現状」によれば、「山県市の市民1人当たりの年間所得」は「262万円(H19年)」。県平均「277万円」の95%。

先の9月議会での市の答弁や担当課によれば、市職員の平均所得は、「平均年齢の43歳の場合532万円」、純粹に見た「職員一人当たり平均所得額は580万」。さらに、共済費(保険や年金)や退職金積立等のすべてを加えた人件費としてみると、「市は年間で、「職員一人」のために 平均「776万円」を支出しています。

職員人件費の削減は主要な課題。政府は人件費2割削減目標。名古屋市長は、職員給与10%引下方針。山県市も大幅な引き下げを検討しなければ市民の理解が得られない時代。

横山善道県議の リコール不成立

山県市議選
水増し請求で

04年4月の山県市議選でのポスター代水増し請求事件にからみ、当時市議だった横山善道県議のリコール(解職請求)を目指して署名運動をしていた市民グループ「やまがた・リコール運動」(寺町知正事務局長)は4日、リコールに必要な署名を集めることができなかったと発表した。署名収集期間は8月27日から10月26日までの2カ月間。リコール成立のためには山県市の選挙人名簿登録者数(9月17日現在で2万4582人)の3分の1にあたる8194人が署名する必要があるが、集まった署名は4578人とどまり、リコールは不成立になった。

2010.11.5 毎日

山県市議の寺町事務局長は「水増しの発覚から3年以上が過ぎ、市民間での盛り上がりはに欠けてしまったのだと思う。不正を認められた議員が今もバツを付けていることは許し難い。残念だ」と話した。水増し請求は、市議選後の07年6月に表面化。同年7月に横山氏を含む議員7人が詐欺容疑で書類送検され、岐阜地検は12月、全員を不起訴処分とした。7人中5人は議員辞職したが、横山県議と宮田軍作市議は辞職しなかった。【岡大介】

2010.11.5 中日

山県市議選
ポスター事件

必要署名数届かず

市民団体「残念だ」

山県市議選の選挙ポスターで、スター費水増し事件で不起訴になった横山善道県議の解職請求（リコール）の署名を集めていた市民団体「やまがた・リコール運動」は四日、請求に必要な署名が集まらなかったと発表した。

事務局を務める寺町知正山県市議によると、八月二十七日から二カ月間で四千五百七十八人が署名。請求を行うために必要な有権者の三分の一（九月十七日現在で八千百九十四人）に及ばなかった。

寺町市議は「事件の発覚から三年以上がたち、市民の怒りが薄れ

山県市議選の選挙ポスターでしまった。残念な結果だ」と語った。

同事件をめぐっては、元山県市議の横山善道と同市議六人が〇四年四月の市議選で、公費から支出されるポスター製作費を市に水増し請求。詐欺容疑で

書類送検されたが、不起訴（起訴猶予）となった。

市民団体は今年八月二十日に県選挙管理委員会にリコールを始めるための書面を提出し、署名活動をしている。（石井宏樹）

2010.11.5 岐阜

県議解職請求 署名集まらず リコール運動終了

2004（平成16）年の山県市議選をめぐるポスター代水増し請求事件に絡み、当時の市議候補だった横山善道県議と山県市選挙区

「リコール運動」は4日、収集期限の先月26日まで署名した市民は4578人で、選挙管理委員会への本請求に必要な有権者の3分の1（8194人）に達しなかったと発表した。

リコール運動は終了する。

同グループ事務局の寺町知正山県市議は「水増し発覚から3年

2010.11.5 読売

リコール運動 署名数届かず

山県の市民団体

元山県市議の横山善道県議（山県市選挙区）へのリコール（解職請求）運動を進めてきた市民団体「やまがた・リコール運動」は4日、署名活動の結果、有権者の署名は4578人しか集まらず、住民投票実施に必要な有権者

数の3分の1（8194人）に届かなかったと発表した。

理由として、同団体事務局長の寺町知正・山県市議は「選挙ポスター代水増し発覚から3年以上が経過して事件が風化して、署名運動の盛り上がりに欠けた」などと述べている。

2010.11.5 朝日

県議のリコール 署名不足不成立

ポスター代水増し問題

2004年の山県市議選で市議らが公費負担の選挙ポスター代を水増し請求したとされる問題で、同市議だった横山善道県議（山県市選挙区）を解職請求するために署名を集めていた市民団体の「やまがた・リコール運動」（事務局長・寺町知正市議）は4日、決められた数の署名を集められなかったと発表した。リコールは不成立となった。

必要な署名数は8194人分だったが、集まったのは4578人分だったという。